

ロシアによるウクライナ軍事侵略を許さず、反戦・平和、反核兵器の訴えを続けていきます！



[継続して街頭活動を行っています]

ロシアによるウクライナへの軍事侵略から9ヶ月となります。世界中でロシアへの非難が続けられているにも関わらず、いまだ戦火に終わりが見えません。プーチン大統領は、事も有ろうか核兵器の使用まで言及し、世界を威嚇しています。

福岡県議会においては、本年3月1日「ロシア軍のウクライナ侵襲に強く抗議し、恒久平和を求める決議」を行いました。

東アジアでも軍事緊張が高まるなか、引き続き反戦・平和、反核兵器の訴えを続けていかなければなりません。

県営「大濠公園」は「西公園」の“付属公園、としてつくられた！？”

県営「大濠公園」の池は、慶長年間（江戸時代初期）、黒田長政が福岡城を建築する時、博多湾の入江であったこの地を外濠として利用するところから始まります。当時は、閉ざされた池ではなく、福岡城を取り囲む濠の一端でした。

明治維新後、「太政官布告」により近代的公園設置が方向づけられ、1877（明治10）年に県営「東公園」が設営されます。その後、1881（明治14）年に県営「西公園」がつくられ、最初の県立公園が東西に設営されました。

しかし、大濠の外堀は明治以降も放置された状態となり、市街化が進むにつれ、付近の雨水や生活用水などの汚水のたまり場となり、ヘドロ化、悪臭もひどく、住民から改修の要望が県に寄せられていました。

そこで1925（大正14）年、県は“西公園の付属公園、として大改良を計画し、5カ年事業で着工しました。この工事で、大濠の約7万坪（231,405m²、福岡ドーム約3.3個分）が埋め立てられ、そのうち西側の約3万坪を住宅地（現大濠1・2丁目）として売却しました。売却金は当時のお金で約72万円、現在の価格では約20億円で、大きな利益が出ました。「大濠公園」の中之島も、このときにつくられています。

その後、1927（昭和2）年、ここで開かれた『東亜勲業博覧会』を機に造園工事が行なわれ、1929（昭和4）年、県営「大濠公園」として開園しました。

ちなみに、「大濠公園」では過去4回、大規模な博覧会が開催され、実物大のスペースシャトルが展示された事もありました。



【 原中まさし県議会役歴 】

[福岡県議会議員：1期目]（2011年4月～2015年3月）

- ・厚生労働環境委員会 委員
- ・総務企画地域振興委員会 副委員長
- ・「空港対策調査特別委員会」委員
- ・「県営住宅管理審議会」委員
- ・「予算特別委員会」委員
- ・「決算特別委員会」委員

[福岡県議会議員：2期目]（2015年4月～2019年3月）

- ・文教委員会 委員
- ・厚生労働環境委員会 委員長
- ・生涯健康安心社会調査特別委員会 委員
- ・福岡県交通対策協議会 委員
- ・予算特別委員会 委員
- ・決算特別委員会 委員
- ・会派 政策審議会長

[福岡県議会議員：3期目]（2019年4月～2023年3月）

- ・第81代福岡県議会副議長
（2019年6月～2020年6月）
- ・空港・交通インフラ調査特別委員会 委員長
（2021～2022年度）
- ・総務企画地域振興委員会 委員
- ・福岡県都市計画審議会 委員
- ・予算特別委員会 委員
- ・決算特別委員会 委員

県政発展にともに頑張る仲間です！



衆議院議員 いなとみ 修二 参議院議員 古賀 ゆきひと

市民のいのちとくらしを守り、生活向上、福祉・医療・介護の充実、教育や子育ての充実、経済の振興、環境や人権問題など、皆様の様々なご要望にお応えし、社会の課題に対応するためには、国政、県政、市政の連携が何より重要です。これからも、仲間とともに頑張ります！



＜ 原中まさしとつながりましょう！ ＞

原中まさしの県議会での質疑応答、各種政策や情報はホームページにアップしています。また、日常的な活動はSNSで発信しています。ぜひ、SNSでつながりましょう！



ホームページ



YouTube



Twitter



Instagram